

平成 25 年度 秋期 IT ストラテジスト試験 解答例

午後 I 試験

問 1

出題趣旨	
IT ストラテジストは、事業を展開するに当たって、事業運営収入の向上策、事業運営効率の向上策、利用者の利便性の向上策について、もてる能力を発揮する必要がある。	
本問では、自治体が展開する自転車シェアリング事業における、IT を活用した業務モデルの構想力について評価する。具体的には、①事業運営収入を高めるための企業や観光客に対する利用促進策、②事業運営の効率を高めるために、貸出処理の迅速化に必要な機能や共有自転車の配置数の決定に必要な情報、③利用者の利便性を高めるために、スマートフォン向けに提供すべきサービスについて問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) 業務目的での利用の促進	
	(2) ① ・常設の利用登録窓口を、バスターミナルと観光名所の集客施設に設ける。 ② ・旅行者者と提携し、自転車シェアリングの利用を推奨してもらう。	
設問 2	(1) 自動精算機での決済用カードによる貸出処理	
	(2) 駐輪ステーション・曜日・時間帯ごとの共有自転車の貸出と返却の台数	
設問 3	(1) 借出し又は返却が可能な最寄りの駐輪ステーションまでの経路を表示する。	
	(2) 観光名所までの経路、サイクリングのコース、所要時間などを表示する。	

問 2

出題趣旨	
IT ストラテジストには、企業の経営戦略に基づいて、IT を活用した全社業務改革の基本戦略を策定して提案し、推進する能力が求められる。	
本問では、小売業における新たなデータ活用による事業拡大計画を立案し、施策を推進する能力を評価する。具体的には、POS 売上情報やポイントカードシステムの情報と市場調査の結果から想定される顧客ごとの購入目的と購入商品や、ポイントカード会員の顧客分析から販売促進活動として行う DM（ダイレクトメール）や電子メールの情報提供の内容を問う。また、プライベートブランド商品開発強化のための施策について、必要な情報収集方法と商品開発システムに追加する情報内容を問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	a 週末に訪問してくる子供の家族との食事	
	b 大きな容量の包装で高い価格帯の食材	
	c “地産地消”をアピールしたメニューの提供	
	d 地元名産の農産品や加工品などの食材	
設問 2	(1) 週末に開催される地域のイベントに関連する商品	
	(2) 売れ筋商品とそれとともに購入されている商品	
設問 3	(1) SNS にコミュニティを立ち上げて意見を集める。	
	(2) ① ・顧客が新商品を利用したい場面 ② ・味や容器の形状などの新商品の仕様	

問 3

出題趣旨		
IT ストラテジストには、サービスの拡大を実施する際に、ニーズを分析して課題や改善すべき項目を抽出し、対策案を検討する能力が求められる。		
本問では、警備会社における家庭向けセキュリティサービスの導入を題材に、市場ニーズの分析、新しいサービスに対する業務の対応と情報の活用に関して検討する能力を評価する。具体的には、警備会社の新サービスに対する支援機能の検討と情報の活用、市場ニーズに対する対象顧客と必要な機能の検討、顧客の要望に対応するために必要な作業の検討とサービスの検討について問う。		

設問	解答例・解答の要点		備考
設問 1	(1)	問合せ内容から回答内容を検索する機能	
	(2)	活用すべき情報	オペレータ名と対応内容と通話時間
		活用方法	指導すべきオペレータを特定する。
設問 2	(1)	高齢者や子供がいる家庭	
	(2)	自分の条件に合うサービスの組合せとその価格を確認できる機能	
設問 3	(1)	見直し内容	警備員待機所の数と場所
		参照する数値	地域ごとの潜在顧客数
	(2)	位置情報を追跡して、携帯端末の所有者を確認するように指示する。	

問 4

出題趣旨		
IT ストラテジストには、市場の動向を分析し、自社の保有技術を把握した上で、新たな製品戦略を立案し、ビジネスモデルを構築する能力が求められる。		
本問では、健康管理ロボットの開発を題材に、市場の状況と自社の保有技術を踏まえた上で、新たな製品の開発を企画する能力を評価する。具体的には、機能と想定する利用者の関係、自社開発と委託開発の判断、戦略的に組み込む機能の検討、新たなビジネスモデルの構築について問う。		

設問		解答例・解答の要点		備考	
設問 1	(1)	話し相手のいない高齢者			
	(2)	①	項目	設計期間 又は 保有技術	
			理由	他社に先駆けて健康管理ロボットを市場に出したいから	
		②	項目	生産設備	
			理由	健康管理ロボットを数多く生産する必要があるから	
		③	項目	保守サービス体制	
			理由	数多く普及したときに保守サービスの拡充が必要だから	
設問 2		D 社の健康計測機器と、容易に接続できる機能			
設問 3	(1)	①	・クラウドサービスの売上		
		②	・健康計測機器の売上		
	(2)	①	・蓄積された計測データと生活データに基づく質の高い診断		
		②	・計測データと生活データの推移に基づく適切な医療指導		